



• 次のような場所に設置しない  
送配電線、ネオンサイン、架線や電話線の近く・人や車両の通行の妨げになる場所・強度の弱い場所や地盤の弱い場所ぐらついたり振動する場所・煙突の付近や、高温になる場所

• アンテナの部品や工具類を高い所から落とさない  
けがの原因となります。

## ⚠ 注意 この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

• 台風の後や積雪の後などは、点検をお買い上げの販売店または工事店に相談する  
アンテナや取付装置に緩みや異常が生じることがあり、そのままにすると、破損や落下により、けがの原因となることがあります。

• 取付金具、アンテナなどに洗濯物や他の物を掛けたりしない  
アンテナが倒れたり破損したり、けがの原因となることがあります。

• マンションやアパートなどでは、管理組合、管理事務所、自治会などに必ず確認のうえ、取付ける  
アンテナの取付けが規制されている場合があります。

## 設置上のご注意

次のような場所に設置しないでください。

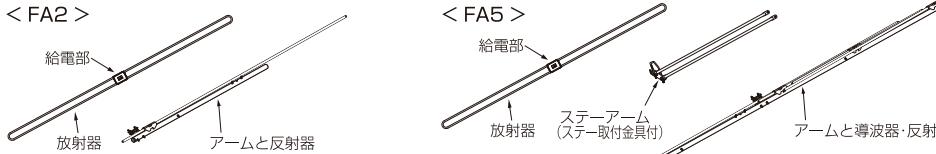
• 送配電線、ネオンサイン、架線や電話線の近く  
・人や車両の通行の妨げになる場所

組み立てや取り付けのネジやボルトは、指定の締付トルクで締め付け、固定してください。

• 強度の弱い場所や地盤の弱い場所、ぐらついたり振動する場所  
・煙突の付近や、高温になる場所

## 構成部品

### アンテナ本体

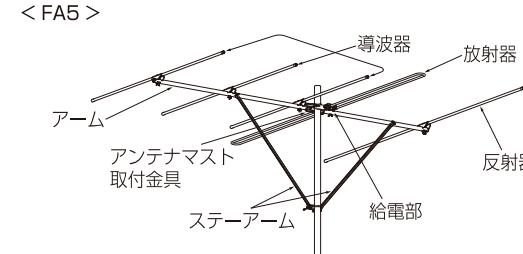
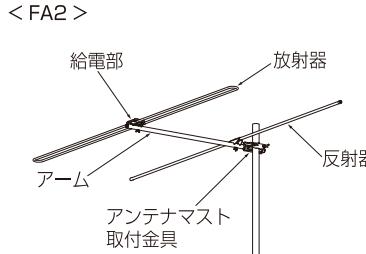


### 付属品<共通>



※付属品はポリ袋に入って、ケースに貼付けています。

## 各部の名称



## お取扱いの前に

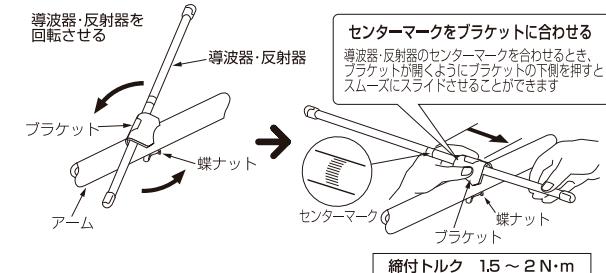
- 強風の時や、雨や雪など天候の悪いときは危険ですから、取付作業は行わないでください。
- アンテナを落としたり、ぶつけたり、アームや導波器、反射器を曲げるなど無理な力を加えることのないよう注意してください。
- 屋根などに取り付ける場合、瓦やスレートなど設置場所の強度に注意し、また長期にわたり台風などの強風に耐えるように強固に固定し、落下、転倒しないよう安全性と信頼性を十分に考慮してください。
- アンテナ本体やアンテナマスト、ステーアーム(支線)などが、電灯線や電話線に近づかないよう、十分離して取り付けてください。
- このアンテナは直径22mm～49mmのアンテナマストに取り付けることができます。
- アンテナの設置は局の方向を確認してから行なってください。

## アンテナの組立方法

### ●導波器<FA5>・反射器<共通>の組み立て

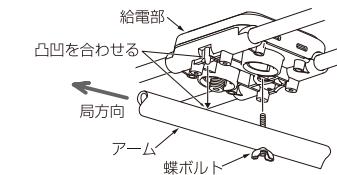
① プラケットの蝶ナットをゆるめて導波器・反射器がアームに対して直角になるように回転させてください。

② 導波器・反射器のセンター・マークをプラケットに合わせて蝶ナットでしっかりと締め付けてください。



### ●給電部の組み立て <共通>

給電部とアームの凸凹を合わせて蝶ボルトでしっかりと締め付けてください。

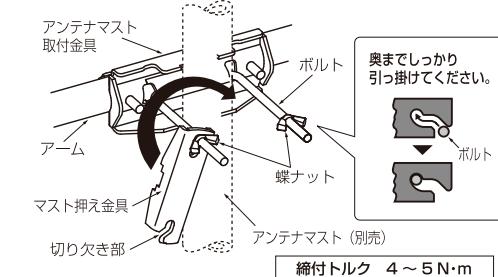


## アンテナマストへの取付方法 <共通>

① 図のようにマスト押さえ金具の切り欠き部をボルトに掛け、蝶ナットを軽く締めてアンテナマストへ仮固定します。

② FM対応のレベルチェックやFMラジオを確認しながら受信状況が最適になるようにアンテナの方向を調整した後、蝶ナットをしっかりと締め付けて固定してください。

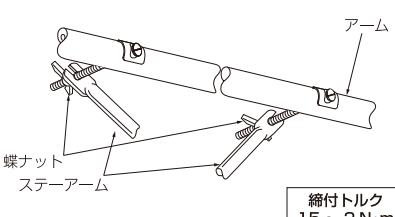
(このアンテナは直径22mm～49mmのアンテナマストに取り付けることができます。)



## ステーアームの取り付け < FA5のみ >

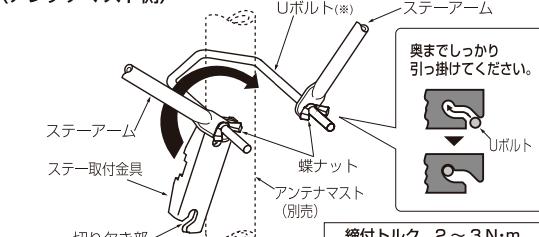
① アーム側に取り付けられた蝶ナットを一旦緩めてからステーアームを掛け、蝶ナットをしっかりと締め付けてください。

### <アーム側>



② アンテナマスト側のステー取付金具の切り欠き部をボルトに掛け、蝶ナットをしっかりと締めてアンテナマストへ固定します。

### <アンテナマスト側>



(※) Uボルト、蝶ナット、ステー取付金具は、ステーアームに取付済